



厚生労働省北海道労働局発表
平成27年12月16日

【担当】

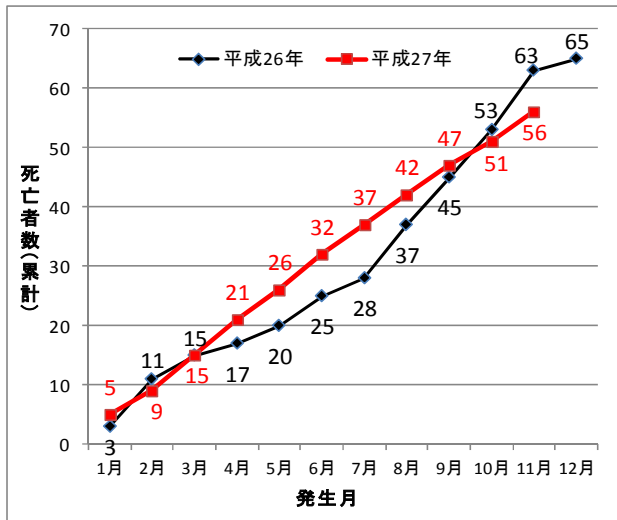
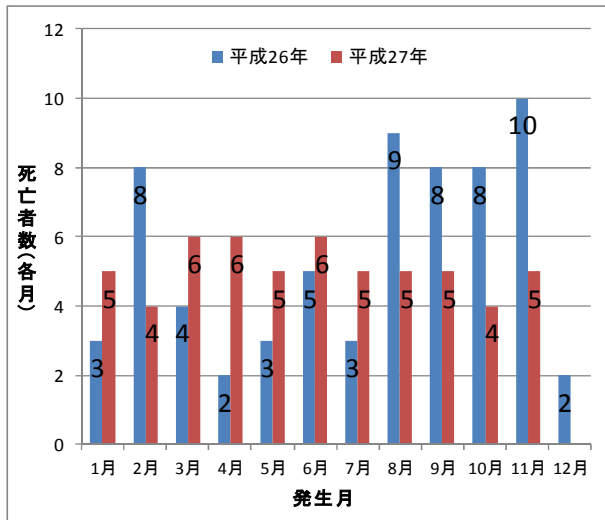
北海道労働局労働基準部安全課
課長 山谷 幸雄
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

死亡労働災害は前年同期比7人減少
死傷労働災害は前年同期比2.0%減少

— 北海道内の労働災害発生状況（平成27年11月末現在速報値） —

1 労働災害による死亡者数（1月～11月）

道内の労働災害による死亡者数は、平成27年11月末現在で56人と、前年同期と比べ7人の減少となっています。



(1) 業種別の状況【資料3、4】

業種別に見ると、「建設業」が24人（全体の42.9%、前年同期比2人増、前年1年間22人を2名超）と最も多く、「陸上貨物運送事業」が7人（全体の12.5%、前年同期比2人増）、「製造業」が5人（全体の8.9%、前年同期比1人増）、「林業」と「卸売業又は小売業」が各4人（各全体の7.1%、「林業」は前年同期と同数、「卸売業又は小売業」は前年同期比6人減）、「港湾運送業」が1人の順となっています。

(2) 事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が14人（全体の25.0%）と最も多く、次いで、「交通事故（道路）」が11人（全体の19.6%）、「はさまれ・巻き込まれ」が8人（全体の14.3%）、「崩壊・倒壊」が7人（全体の12.5%）と続き、この4種類の災害で全体の71.4%を占めています。

2 労働災害による死傷者数（1月～11月）

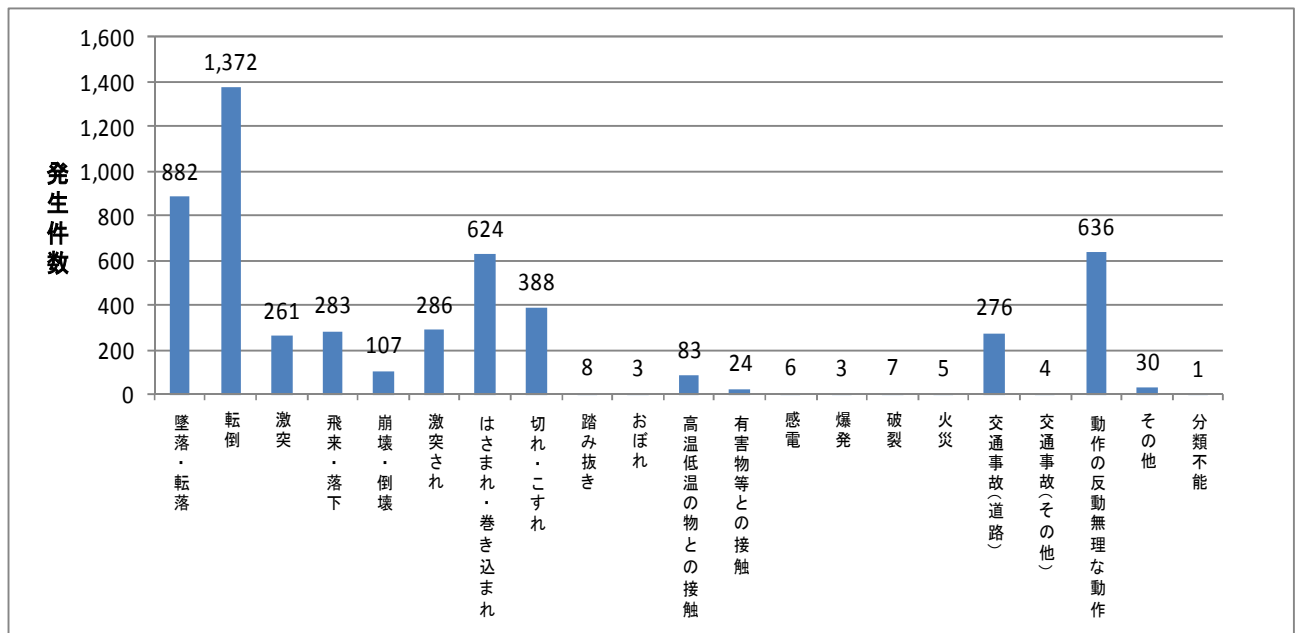
道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成27年11月末現在で、5,289人と、前年同期比110人減（2.0%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「製造業」が989人（全体の18.7%、前年同期比42人増）と最も多く、次いで「建設業」が823人（全体の15.6%、前年比53人減）、「商業」が734人（全体の13.9%、前年同期比11人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が614人（全体の11.6%、前年同期比84人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が1,372人（全体の25.9%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が882人（全体の16.7%）、「動作の反動・無理な動作」が636人（全体の12.0%）、「はさまれ、巻き込まれ」が624人（全体の11.8%）となっています。



3 北海道労働局の対応

北海道労働局では、年末に向けて建設業の死亡労働災害撲滅のため、「建設工事追い込み期労働災害防止運動」（取組期間：10月1日から12月31日）の更なる積極的な取組みを、関係団体を通じて要請（12月1日）するとともに、関係労働災害防止団体が主催する「年末年始無災害運動」（平成27年12月15日～平成28年1月15日）等を支援しています。

また、引き続き「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」（取組期間：平成27年12月1日～平成28年3月31日）の取組みの啓発を行うとともに、降積雪期における労働災害防止のため、「冬季特有の労働災害を防止しよう！」リーフレットを配布するなど、業界団体等を通じて要請しています。

【添付資料】

- 1 業種別労働災害発生状況
- 2 署別・業種別災害発生状況
- 3 平成27年における死亡災害発生状況[速報]
- 4 平成27年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 5 平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 6 死亡労働災害の概要（前月把握分）

（リーフレット）

「建設工事追い込み期労働災害防止運動」

「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」

「冬季特有の労働災害を防止しよう！」